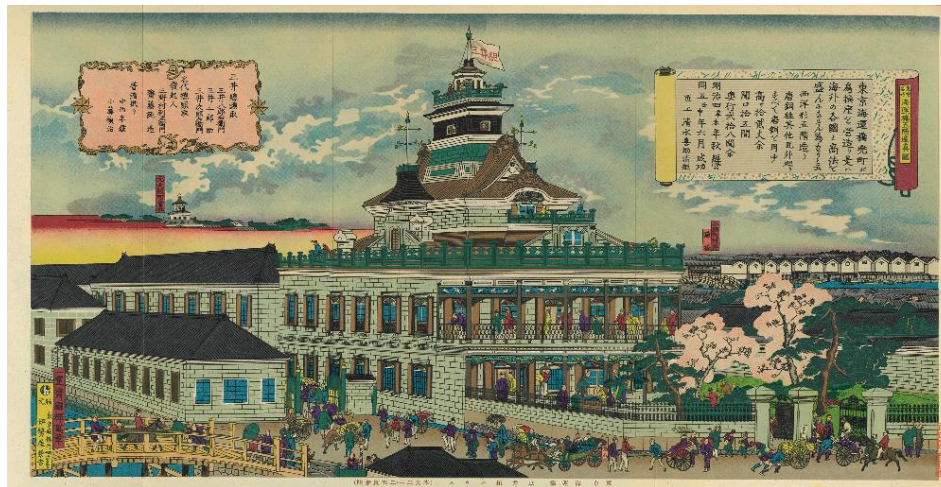


報道関係各位
プレスリリース

特別研究室企画展示

内田嘉吉文庫に見る 渋沢栄一とその時代 ～明治・大正期の近代日本～



▲ 渋沢栄一

『第一銀行五十年小史』/1926年

◀ 三井組ハウス(後の第一国立銀行)

『三井銀行五十年史』/1926年

日比谷図書文化館4階の特別研究室では企画展示「内田嘉吉文庫に見る 渋沢栄一とその時代～明治・大正期の近代日本～」を開催します。20年ぶりの新一万円札の顔となり、日本の近代資本主義の父として知られる渋沢栄一。約500の会社や団体の設立・経営に参画した他、学校教育事業、福祉事業などを支援しました。内田嘉吉は渋沢栄一と共に日米間に海底電信線の敷設を計画するなど関わりが深く、内田嘉吉文庫には日本経済の礎を築いた渋沢栄一の資料が多く残されています。今回の企画展示では所蔵の渋沢栄一関連の資料を展示すると共に、近代化により変わっていく明治・大正期の風景などをパネルで紹介いたします。

■ 開催概要

- ・会期：4月20日(火)～6月30日(水) *休館日：5月17日(月)、6月21日(月)
- ・開室時間：平日10:00～20:00、土曜10:00～18:00、日曜・祝日10:00～16:00
- ・会場：4階特別研究室 ・入場無料

■ 主な展示図書

『渋沢栄一滯仏日記』(1928年)、『第一銀行五十年小史』(1926年)、『日米間海底電線布設費概算及同草案』(1919年)
『東京株式取引所五十年史』(1928年)、『風俗画報』臨時増刊226・236号(1901年) ほか

■ 関連講座

「渋沢栄一と後藤新平 —その「協業」から近代日本を顧みる—

- 講師：見城悌治(千葉大学大学院国際学術研究院 教授)
- 日時：6月5日(土)14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ○ 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民・学生500円)*住所が確認できるもの、学生証をご提示ください。
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、または電話(03-3502-3340)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、内容について変更や中止になる場合があります。

最新情報につきましては、日比谷図書文化館(03-3502-3340)またはホームページにてご確認ください。

〈お問い合わせ先〉

千代田区立日比谷図書文化館 広報担当:並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、岡本 okamoto-yoriko@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL:03-3502-3340/FAX:03-3502-3341
ホームページ:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/